

令和5年度 小山市民フォーラム②（8／17夜間開催分） 発表のまとめ

【交通環境・公共施設】

- ・おーバス、水戸線、両毛線の使いにくさの解消
- ・自動運転化
- ・歴史的建造物や文化財など豊富、これらをつなげて、エンタメ性の高いものが呼べる施設
- ・ライブ会場、サッカースタジアムを建設することで人を呼び込む

【コミュニティ（自治会）・多文化共生】 A

- ・祭りだけでなく、もっといろいろなものを掘り起こして保存に繋げたい
- ・どんな言語の方が住んでいたとしてもコミュニケーションをスムーズに取れる世の中に
- ・多言語対応の電子ツールを使ったコミュニケーション
- ・文字だけでなく顔を見たスムーズなコミュニケーション
- ・多文化共生には文化を知ることが重要である

【コミュニティ（自治会）・多文化共生】 B

- ・災害や家事の時などに、地域として役立つことができないと意味がない
- ・隣の人とのお付き合いが疎遠になっているが、今後継続で来るか
- ・地域が子供の見守り、お年寄りの見守りをすべきだが、限界がある
- ・自治会を支援してくれる行政や他団体のあり方を検討しないと尻すぼみの可能性がある
- ・30年後の小山市は外国人の力をもっと借りているだろう
- ・学生と外国人、さらに高齢者との交流が自然とできるまちになってほしい
- ・住民だけの力でなく、行政のサポートやデジタルツールなどが必要である

【少子化・子育て・教育】

- ・2054年に人口30万人。子育て世帯人口全国1位という野心的な目標
- ・子育てサポート体制の整備（住環境、教育、コミュニティ）
- ・保育料の完全無料化、給食費の無料化、学童保育費の無料化
- ・家政婦やベビーシッターをもっとカジュアルに使える風潮
- ・遊具のある大規模な公園の整備
- ・給料倍増計画
- ・私立中学、高校の誘致

【農業・自然環境】

- ・農村部は30年後も状況は変わらない
- ・生産性を上げるには消費が必要である
- ・地産地消には行政がバックアップして、宣伝・アンテナショップを実施する

- ・地産地消で農家の担い手に還元できる
- ・オーガニックは重要な課題である
- ・地産地消、安全に生産する人がいて、消費者がいる、30年後も変わらないシステム
- ・小山市、コウノトリということを知っている人がいる